

地球の環境を守る「意志の力」



1月15日(木)に町と株式会社大垣共立銀行、株式会社バイウィルは「カーボンニュートラルに関する連携協定」を締結しました。この協定は、各種環境価値に関する情報の共有化、CO₂削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的としています。

川地憲元町長は「地球温暖化が深刻な環境問題として取り上げられており、町としても『第3次養老町地域温暖化対策実行計画』を策定し、CO₂削減を推進しています。まちづくりを進めていくには民間の力が必要不可欠です。養老町を守り、残していくため、これからもお力添えいただきますようお願いいたします」と連携強化を呼びかけました。

粘り強く、流れと運を引き寄せる将棋



公文杯第51回小学生将棋名人戦 岐阜県大会において優勝し、山形県天童市で開催される代表大会へ出場する安田清流選手が1月20日(火)に川地憲元町長を訪問しました。

川地町長は「『将棋の聖地』天童市での大会には特別な思いがあるでしょう。気持ちを強く持ち、優勝目指して自分の将棋を指してきてください」とエールをおくと、安田選手は「一番嬉しい瞬間は、詰みを読み切って勝ったときです。定跡にとらわれるばかりでなく、相手の意表を突くような自分だけのスタイルで戦いたいです。終盤まで粘り強く指し、運を引き寄せて、活路を見出す将棋で優勝したいです」と大会への意欲を語りました。

言葉を必要としないコミュニケーション



1月26日(月)と2月16日(月)に町テレワーク施設 YOROofficeにおいて、絵本作家のなるかわしんごさんを講師として迎え、町子ども家庭センターのワークショップ～絵本作家さんと一緒に遊ぼう！～が開催されました。

3歳までの子どもとその保護者が参加し、なるかわさんの絵本と一緒に絵を描いたり、折り紙を折ったりちぎったりして遊び、楽しみながらコミュニケーションを図りました。身近にある物を利用して一緒に遊ぶことで、言葉以外のものからそのときの思いや気持ちを感じ取り、まだ言葉を話すことができない子どもと向き合い、寄り添うためにはどうするといった学びました。

心通わせる一服の時間



1月18日(日)に町中央公民館において、町茶華道協会主催の「新春茶会」が行われ、町内外から多くの人々が参加し、心ゆくまで一服を堪能しました。新春茶会とは年が明けてから初めて行われる茶会で、茶道では「初釜」と呼ばれます。この茶会は、今回で39回目の開催となり、新春を祝うとともに地域文化の発展に寄与する恒例行事となっています。

今回はお座敷でのお点前が披露され、着物姿の協会員により振る舞われたお茶やお菓子を味わい、新年を祝いました。参加者は洗練された美しい所作からおもてなしの心を感じ、主催者と同様に心を尽くすことで、主客が一体となった「心を通わせる時間」を共有しました。